

2023 年度活動報告

事業の柱である「在日ミャンマー人定住相談支援」を前年に引き続き実施した。また、文化交流事業として、多文化共生スタディツアー・セミナー主催、ミャンマー語のレッスンや、ミャンマー人に対するオンラインの日本語レッスン、外部団体イベントなどにも積極的な参加を行った。

【組織運営】

① 会員

2023 年度会員加入実績

正会員 40 人

賛助会員 5 人

うち 5 人が新規加入 会員合計 45 人

【在日ミャンマー人定住支援事業】

① 2023 年度の相談支援実績(受益者 約 200 名)

2023年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ビザ関連	1	6	3	3	4	3	6	2		7	2	6	43
通訳・翻訳	4	2	1	2	4	10	7		5	3	4	6	48
施設手配													0
税金相談													0
進学相談	3				1		1						5
学校対応	1			1								2	4
労働関連	1	5	5	2	3		7	4	15	1	2	2	47
不動産関連	1		2	1		2	1		1	1	1	4	14
食料支援	2	2		1	7	49	44	16	42	24	29	1	217
行政手続き	3		1	1	1	3		6	2	5	1	2	25
日本語レッ	11	5	4	4	5	4	5	4	3	4	6	4	59
その他	14	9	15	19	21	19	17	7	14	11	21	8	175
月合計	41	29	31	34	46	90	88	39	82	56	66	35	637

※その他支援内容:

不動産探し、病院同行、税金納付相談、賃貸物件契約支援、飛行機チケット購入相談、電話契約変更支援、クレジットカード契約支援、ゴミ出し指導対応、帰化申請支援、食糧支援など

※相談者の分析

- ・性別 男性 47.7%、女性 52.3%。
- ・年齢 10代～60代
- ・民族 ラカイン人 52.1%、ビルマ族約 41%、残り 6.9%はモン族、カチン族、カレン族、シャン族、カヤー族の順の多さで相談を受けた。ラカイン人が多いのは、当団体ミャンマー人理事がラカイン人であることが理由としてあげられる。また、日本人の方・警察など国の機関からも随時相談を受けている。

② インターン育成（受益者 17 名）

大学生インターンが定住支援業務に従事することで、支援の方法を学び、知見を広げた。若い世代が多文化共生について触れる機会を作ることで、今後の日本国内の国際理解の一端を担った。

【文化交流事業】

① 文化交流イベント（受益者 約 5 万人）

- やまとワールドフェスタ参加(10月)
- 金沢ラウンジフェスティバル参加(12月)
- SDGs カフェ みなと喫茶参加(1月)
- かながわボランティアフェスタ参加(2月)

上記のイベント活動により、たくさんの方々へ多文化共生や当会の活動への興味関心を高める機会を得た。

② 日本語オンラインレッスン（受益者 10 人）

ボランティアの方 2 名とスタッフ 2 名で、在日ミャンマー人に対してオンライン日本語レッスンを年間 59 回実施した。10 人の在日ミャンマー人の日本語能力向上に貢献し、日本社会での外国人の円滑な生活を促した。

③ ミャンマー語レッスン（受益者 3 名）

母語としてのミャンマー語レッスンと、日本人に対するミャンマー語レッスンを行った。毎週一回、年間を通して行い、合計 50 回実施した。3 名の日本人に対して、ミャンマー語能力の向上およびミャンマーへの友好促進に貢献した。

④ 多文化共生スタディツアー、心の共生セミナー（受益者 計 40 名）

SDGs に関するイベントや当会主催イベントとして、在日ミャンマー人と共にミャンマーの料理「モヒンガー」と日本料理「親子丼」を一緒に作って食べ鎌倉観光を行うスタディツアーや、多文化共生のため日々活動を行っている方をゲストに招きお話を伺い、ディスカッションを行う心の共生セミナーを実施した。在日ミャンマー人の実情や国際理解について、参加者同士でも活発に議論が展開され、多文化共生社会の実現に貢献した。

⑤ その他

研究者や行政、情報機関に対する情報提供を不定期で実施した。アカデミックやジャーナリズムを通じたミャンマーや外国人労働者の理解向上に貢献した。TV や新聞などマスコミ関係者に情報提供を行った。

【国際協力事業】

① ミャンマーシャンリーコーヒー、オリジナルマスク、ミャンマー産黒クルミ販売

(受益者 ミャンマー本国のコーヒー生産者 約 200 名、マスク工場の工員 約 550 名、黒クルミ生産者約 50 名)

ミャンマーシャンリーコーヒー・ミャンマーマスクの販売を継続して行い、さらに今年度からはミャンマー産黒クルミの販売も開始した。フェアトレードの観点からも好評を得ている。

コーヒーと黒クルミ・マスクをリターン品とした在日ミャンマー人支援資金を募るクラウドファンディングも行った。

各種イベントなどでも積極的に販売を行い、多くの日本人の方々にミャンマーのコーヒー・黒クルミを知っていただくとともに、当会の活動や多文化共生への興味関心を高めた。

② 日本語学校の設立 (受益者 ミャンマー本国にいる、日本で働きたいミャンマー人 9 名)

ミャンマー本国ヤンゴン・ミンガラドン地区で、働きながら夜間に日本語を学ぶことができる日本語学校を設立・運用している。9名の生徒のうち、4名が日本で就労・結婚した。今後も引き続き日本で働くことを目指すミャンマー人に日本語を学ぶ機会を提供することで、ミャンマーと日本双方向での異文化理解や多文化共生を広める。